

プランターに苗を植える五郷小児童



卒・入学式に向け植栽

五郷小 花の苗植えに挑戦

熊野市五郷小学校で四日、花いっぱい運動の一環として花の苗植えが行われた。全校児童十一人が、屋外でプランターに花の苗を丁寧に植栽した。

市が取り組む「小学校花いっぱい運動事業」は、希望する小学校へ同ネットワークの会員が赴き、子どもらとともにプランターへ植栽を行い、花を通して小学校と地域間のつながりを作ることを図るため実施されている。

五郷小学校へは、パンジーとビオラ各七十五株が送られた。児童会長の舩屋雄樹君(六年)が司会を務め、はじめに書記の宇城にこさん(五年)が「花は卒業式と入学式で使うので、みんなで頑張って植えましょう」と挨拶した。

その後奥野教頭から植栽の注意点を聞き、三班に分かれて作業を開始。優しくポットから苗を取り出し、配色を考えながら計三十個のプランターに植えていった。植えた後、花が枯れた後にできる種

に栄養がいかないよう、現在咲いている花を摘み、来月に控える卒業式に花が咲くようお願いを込めた。

最後に、児童らが「去年より上手に植えられた」「一年生が上手にやっていた」などの感想を語り合い、副会長の浦狩愛来さんが終わりの挨拶。「みんなで協力できました。これからも頑張ってお話ししましょう」と話した。

今年市内六校にパンジーやビオラ、キンギョソウなどが配られ、各校で植栽が行われるという。

した児童らは、夏休み明けに熊野市紀和町では、雪化粧された丸山千枚田や雲海が広がるツエノ峰のほか、春を感じさせるクマノザクラの写真を撮影した。熊野の景色が店内を華やかに彩り、来店客の目を魅しませている。

開催時間は午前九時から午後三時まで。銀行休業日を除く。担当者は「来店の際は是非ご覧ください」と話している。

沢山相之之集い

五郷小 児童ら式典彩る花作り

熊野市五郷小学校（上林和弘校長）で4日、「小学校花いっぱい運動」が行われ児童11人が春を彩る花づくりを励んだ。

熊野市では希望する小学校を対象に「小学校花いっぱい運動」を展開している。「くまの花いっぱいネットワーク」の会員が出向き、児童と一緒に植栽を行い、学校花壇の充実や小学校と地域のつながりを作ることが狙い。

今回、五郷小学校では新型コロナウイルス感染症防止の観点から、児童生徒と教員だけで花の寄植えを行った。はじめに児童会の外屋雄樹会長が司会進行し、書記の宇城に「卒業式や入学式の花を育てましょう」などと挨拶した。

奥野和秀教頭が花を植える時のコツなどを説明した後、児童たちは3グループに分かれ、プランターにパンジーとヒ

オラを植え替えた。1グループ10ずつ、合計30のプランターに花を植栽。成長を促すため剪定も行った。

最後は児童会副会長の浦狩愛来さんが「卒業式や入学式に向けて皆でお世話しましょう」と呼びかけた。児童たちは「たくさん花を植えられて楽しかった。低学年の子も上手にやってくれた」など感想を語った。五郷小学校では3月19日に

卒業式、4月7日に入学式を予定しており、児童たちの育てた花が会場を彩る。



【楽しそうに花をプランターに植え替える児童】